



プラセンタ注射は、 「癒療」の実践に欠かせない

【清水整形外科クリニック】（清水伸一院長／さいたま市浦和区）

自分の腰痛、坐骨神経痛で、プラセンタ注射の効果を体感する

清水伸一先生が院長を務める「清水整形外科クリニック」は、JR京浜東北線・北浦和駅から徒歩9分ほどのところにある。偶然だが、整形外科の先生が同姓になった。「もしや親戚かも……」と勝手に想像をふくらませていたが、うかがうとまったく関係なかった。

開院は2006年8月。出身大学の埼玉医大総合医療センターや出向先の病院で、整形外科医を約18年間務めたあとの独立である。

「それまで手術しかやってこなかったので、手術に代わるものを探しました。東洋医学も学びました。代替医療も勉強しましたが、それでも患者さんの痛みはなかなか取れません。手術なしに患者さんの痛みをとる方法はないかと探していると、吉田先生が書かれたプラセンタ療法の本と出会ったのです」

実は、清水先生には、10年ほど前から腰痛と坐骨神経痛があった。いろいろと治療を受けるが、一向によくならなかった。

患者さんの治療でも、自分の腰痛でも行き詰まりを感じていたときまさにそのとき、プラセンタ療法と出会ったのだ。

「吉田クリニックに電話をして、押しかけました。すぐに週1回のプラセンタ注射を受けると、1回目の注射で身体が楽になり、朝起きるのが楽になりました。気分も楽になりました。3回目には早くも腰痛が軽快し、4回目以降は下肢痛がどんどん軽くなりました。今ですか？ 腰痛や坐骨神経痛を感じることはまったくありません」

自分の腰痛と坐骨神経痛の全快……。